2027年６月期
第１四半期決算説明資料



株式会社Lib Work（証券コード：1431）
2026年11月12日

LibWork

第１四半期の決算サマリー

本業の実績、震災の影響、成長事業の進捗について

業績サマリー（連結・第１四半期）

売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する四半期純損益
2,447百万円	△387百万円	△288百万円	△238百万円
前年同期：2,079百万円	前年同期：△390百万円	前年同期：△403百万円	前年同期：△299百万円

特殊要因

被災地支援・当社被災に係る費用	40百万円
暗号資産（ビットコイン）評価益	103百万円

主な事業トピック

震災対応（令和８年熊本地震）

- 発災翌日から震度５以上の地域のお客様へ合計約2,000件以上に状況確認
- 給水および給電支援を実施
- 宇城市へ300万円を寄付

プラットフォーム事業・３Dプリンター住宅事業

- 「niko and … EDIT HOUSE」はあらたに岐阜県・滋賀県で県内初のモデルハウスが完成
- 公開モデルハウスは全国累計30棟に拡大
- ３Dプリンター住宅では、V3D Asia株式会社と資本業務提携

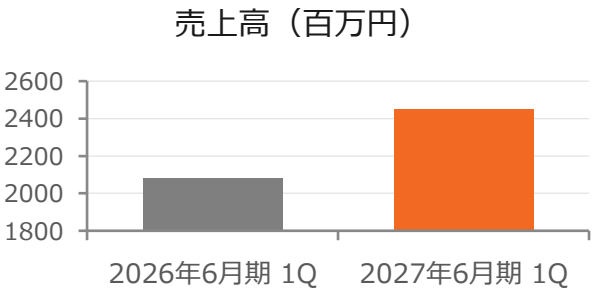
新中期経営計画など

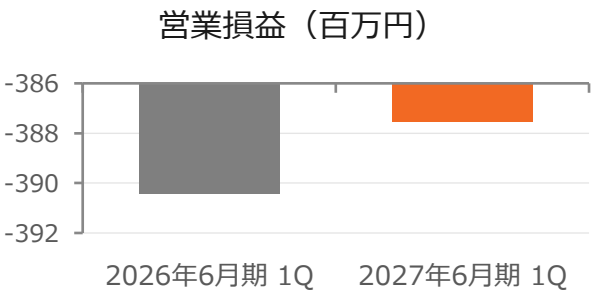
- 中期経営計画「Lib Earth Shot2029」を開示
- 初年度の事業基盤整備を推進
- 「事業計画及び成長可能性に関する事項」を開示

連結業績の概要

前年同期との比較

（百万円）	2026/6期 1Q実績	2027/6期 1Q実績	増減額	増減率
売 上 高	2,079	2,447	+368	+17.7%
売上総利益	608	541	△67	△11.1%
売上総利益率	29.3%	22.1%	△7.2pt	－
営業損益	△390	△387	+2	－
経常損益	△403	△288	+115	－
親会社株主に帰属する四半期純損益	△299	△238	+61	－





変動要因

- 売上総利益の減少は、不動産販売高の上昇によるもの
- 営業損益：売上総利益541百万円（前年同期比△67百万円）、販売費及び一般管理費928百万円（同△70百万円）
- 経常利益：暗号資産（ビットコイン）の評価益

※百万円未満切捨て。増減額・率は千円単位の数値から算出。損失の増減率は「－」表示。

損益の増減要因

本業の損益と、震災関連費用・暗号資産評価益の影響

特殊要因

被災地支援・当社被災に係る費用

40百万円

計上区分：特別損失
「災害による損失」として計上

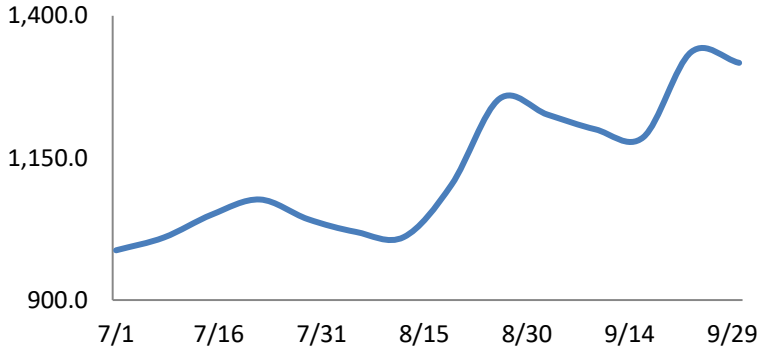
暗号資産（ビットコイン）評価益

103百万円

計上科目：営業外収益「暗号資産評価益」
保有資産の時価評価によるもので、住宅販売の収益とは区別

単位：万円

ビットコイン
円建て週次終値



営業損益から四半期純損益までの段階別表示

（百万円）	営業損益	営業外損益	経常損益	特別損益	法人税等	親会社株主に帰属する四半期純損益
2027/6期 1Q	△387	99	△288	△27	△77	△238
うち特殊要因	–	103	103	△27		

財務基盤と資金の状況

成長投資を支える資金余力と資産効率

（百万円）	2026/6期末	2027/6期 1Q末	増減
総 資 産	13,494	13,151	△342
純 資 産	4,679	4,403	△276
自己資本比率	34.7%	33.5%	△1.2
現金及び預金	3,418	2,407	△1,010
有利子負債	5,832	5,639	△193
棚卸資産	6,958	7,452	+494
暗号資産（ビットコイン）	274	378	+103

自己資本比率

33.5%

前期末：34.7%

現金及び預金

2,407百万円

前期末：3,418百万円

令和８年熊本地震への対応

顧客ファーストを全社の行動として実践

7月28日
地震発生

7月29日～
お客様へ電話と訪問による安全確認と支援

7月31日～
無料の給水・給電支援を実施

9月18日
宇城市へ300万円を寄付

震度５以上の地域

約1,250件

電話による状況確認

震度６以上の地域

約830件

電話・訪問による確認と支援

当社５拠点で無料の給水および給電支援を実施。
自社SNSで発信し、多方面に拡散。



全社員が連携し、お客様の安全確認と生活支援を最優先に対応。

人的被害　なし
確認対象のお客様において

建物の倒壊　なし
当社施工住宅において

プラットフォーム事業（IPライセンス）の全国展開

ブランド住宅IPで加盟工務店の集客を後押しし、当社のストック収益を積み上げる

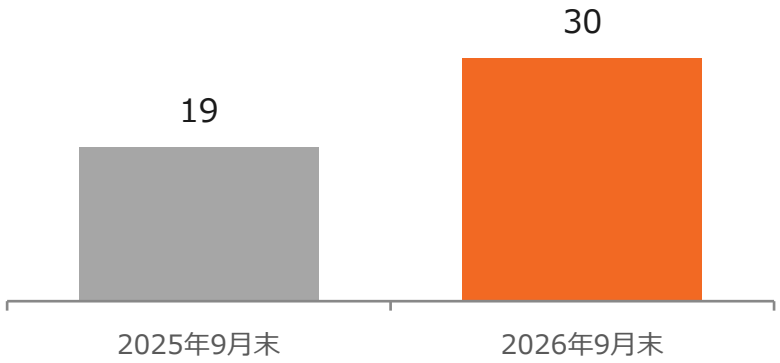
niko and … EDIT HOUSE
モデルハウス 全国累計

30棟

前年同期末比
約1.57倍
（2026年９月末時点）



公開モデルハウス数の推移（累計）



成長の仕組み

ブランドIPの集客力
人気ブランドの世界観をそのまま住まいに

▼

加盟工務店の受注を後押し
モデルハウス公開で地域の集客拠点に

▼

当社のストック収益
加盟店の拡大がライセンス収入の積み上げに

県内初のモデルハウスが相次いで完成

岐阜県　プライズ様　　**７月完成**



滋賀県　西和不動産様　　**８月完成**



３Dプリンター住宅が『Newsweek International』に掲載

土を主原料とする「Lib Earth House “model B”」の取り組みが、世界的ニュースメディアに掲載



Lib Earth House “model B”

掲載概要

	内容
媒体名	Newsweek International
発行元	Newsweek Publishing LLC
発行日	2026年７月24日



記事タイトル

「Lib Work、３Dプリンティングで日本の住宅の未来を再構築」

記事で紹介された主な内容

日本の住宅業界の課題への対応
人口減少・建設技能者不足・輸入資材価格の高騰に、3Dプリンティング技術とDXで挑む

環境配慮型３Dプリンター住宅の開発
土を主原料とした住宅づくりで、建設の生産性向上とCO_2排出量削減を推進

AI・デジタル技術による住宅産業の変革
設計から施工までAIを活用した完全自動住宅建設の実現を目指す

Lib Earth House “model B”の特徴

約100㎡
国内初、土が主原料の3Dプリンター住宅

約５倍
強度（旧”modelA”比）

約50%
CO_2排出量削減（RC住宅比）

特許取得
土を主原料とする建築材料の配合技術

V3D Asiaとの資本業務提携

海外展開と建築コスト低減を進めるため、東南アジアでの連携を開始

株式会社Lib Work

- 国内の住宅事業で培った知見
- ３Dプリンター住宅「Lib Earth House」の技術・ノウハウ

資本業務提携



2026年９月

V3D Asia株式会社

- 東南アジアでの３Dプリンター住宅施工実績
- 海外のネットワーク
- 低価格での商品化実績

提携で目指すこと

グローバル化	実証と供給体制	コストと品質
ASEAN地域（主にインドネシア・マレーシアを中心）に展開	現地での実証と供給体制の構築を目指す	低価格化と品質確保の両立を図る

V3D Asiaとの提携を、東南アジアでの本格受注への足がかりに。

「Lib Earth Shot 2029」と第１四半期の位置付け

初年度FOUNDATIONの第１四半期から、３年後の収益源となる基盤づくりに着手

中期経営計画　Lib Earth Shot 2029

計画期間：2026年７月～2029年６月
住宅事業の基盤を生かし、技術とプラットフォームを通じた事業拡大を目指す

PHASE 1 2026.7 – 2027.6　現在地：1Q
FOUNDATION
利益を生み出す土台をつくる

PHASE 2 2027.7 – 2028.6
SCALE
成功モデルを一気に拡大する

PHASE 3 2028.7 – 2029.6
MONETIZE
Housing OS企業として収益を確立する

FOUNDATION ― 第１四半期の取り組み

３Dプリンター建設事業の量産化準備

1. **建設用３Dプリンターの自社開発**
   材料配合・施工品質の標準化を推進し、量産化に備える
2. **東南アジアでの事業基盤づくり**
   インドネシア・マレーシアでパートナー選定・実証・モデルハウス建設を推進。
   V3D Asia株式会社と資本業務提携

2029年６月期 目標
海外売上高比率　３%以上

Housing OS事業基盤の整備

1. **My Home Roboを再設計**
   プラン検索サービス　→　住宅建築AIソリューションへ
2. **IPライセンスでリフォーム・リノベーション商品を開発**
   新築に加え、既存住宅の市場へ展開領域を拡大

2029年６月期 目標
ストック利益比率　25%以上

2027年６月期の業績見通し

第１四半期の進捗を踏まえ、上期は上方修正。

業績予想

（百万円）	2027年6月期２Q（期初予想）	2027年6月期２Q（修正予想）	対予想比 増減／比率
売 上 高	7,000	7,700	＋700／10.0%
営業利益	100	110	＋10／10.0%
経常利益	60	120	＋60／100.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	30	70	＋40／133.3%

業績予想
２Q累計

上方修正

業績見通しについて

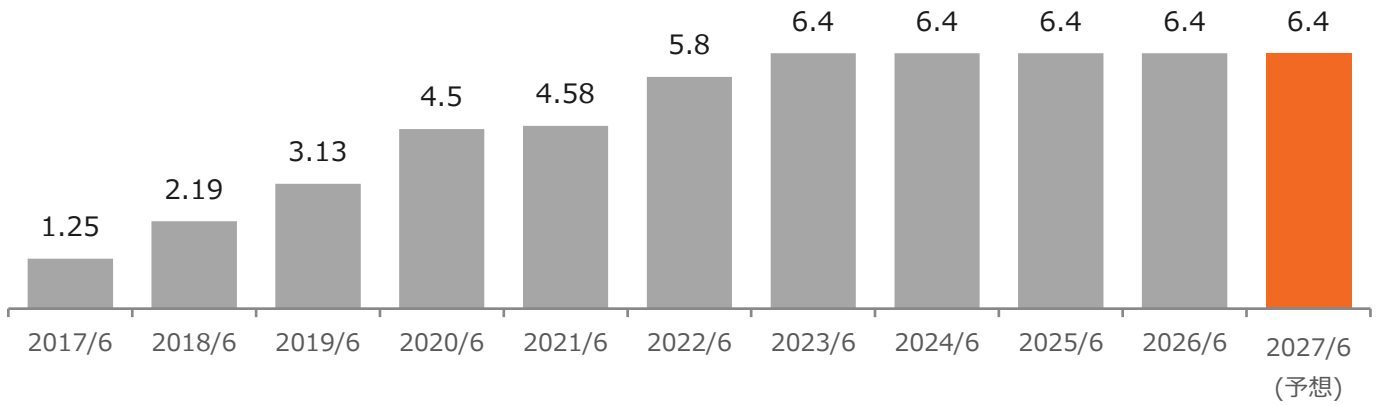
- 令和８年熊本地震への復旧・復興支援の影響を踏まえて試算していたが、現時点における着工物件の工期進捗状況を踏まえ、売上高及び営業利益についてはやや上振れての着地を見込み。
- 経常利益以下の各利益は、保有している暗号資産（ビットコイン）の値上がりによる営業外利益の増加、並びに令和８年熊本地震に伴う被災地支援及び当社の被災に係る特別損失等を加味した。
- 通期の業績見通しは、期初予想のまま据え置き。

株主還元（配当と株主優待）

配当と四半期ごとの株主優待をあわせ、長期保有の株主に厚く還元

年間配当金（予想）	四半期配当	配当性向（予想）
6.4円	1.6円×年4回	53.2%

1株当たり年間配当金の推移（株式分割考慮後・円）　10年で約５倍



株主優待（四半期ごと・年４回）

保有株式数	優待内容
100株以上	クオカード1,000円分（年１回）
1,000～1,999株	優待ポイント 5,000ポイント
2,000～4,999株	優待ポイント 12,000ポイント
5,000株以上	優待ポイント 35,000ポイント

※優待ポイントはプレミアム優待倶楽部によるもの。３か月に１度付与。
１ポイント＝１円相当

5,000株保有の場合
年間で受け取れる価値

クオカード		優待ポイント		配当金（予想）		年間合計
1,000円	＋	140,000円相当	＋	32,000円	＝	173,000円相当
年１回		35,000pt×年４回		6.4円×5,000株		

※配当・株主優待は2026年８月13日公表時点の内容。配当金は2027年６月期予想に基づく税引前の金額。優待ポイントは１ポイント＝１円相当で換算

Appendix





VISION

HOUSE TECH COMPANYとして
住宅のプラットフォーマーを目指す


MISSION
サステナブル＆テクノロジーで
住まいにイノベーションを起こす


SLOGAN
暮らしを変える、世界を変える、未来をつくる。

企業概要

熊本から全国・世界へ、「HOUSE TECH PLATFORM COMPANY」を目指す

項　　目	内　容
社　名	株式会社Lib Work（証券コード：1431）
代 表 者	代表取締役社長CEO　瀬口 力
設　立	1997年８月１日
資 本 金	13億2,150万円
従業員数	368名（2026年６月末現在）
売 上 高	156億80百万円（2026年６月期）
事業内容	戸建住宅事業／３Dプリンター住宅事業／プラットフォーム事業
本店所在地	熊本県山鹿市鍋田178-1



戸建住宅（CGパース）



3Dプリンター住宅「Lib Earth House」

事業ポートフォリオ

３事業がそれぞれ異なる役割・収益特性を担い、事業構造の転換を推進

戸建住宅事業

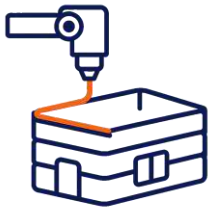


収益基盤

デジタルマーケティング集客とYouTube等のブランド資産を活かし、効率的なフロー収益の基盤を担う

フロー収益

３Dプリンター住宅事業



技術優位・新市場創出

特許技術と環境価値により、新たな住まいの選択肢と海外展開の機会を創出

成長投資

プラットフォーム事業



ストック収益

My Home Robo・IPライセンス等のサブスクリプションにより、安定的なストック収益を拡大

ストック収益

CG・VRを活用した全棟提案

「家は建つまでわからない」という不安を、高精度CG・VRによる全棟提案で解消

全棟でCG・VR提案

すべてのお客様に、完成時の住まいを
CGとVRでご提案

ノウハウ蓄積による低コスト化

長年のノウハウ蓄積により、制作コスト
を大幅に削減

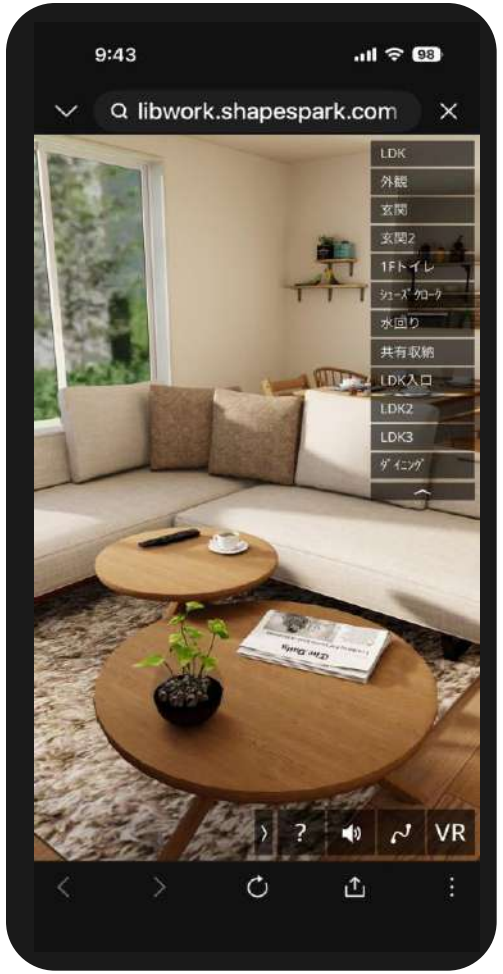
満足度と提案効率の向上

完成後のイメージギャップを低減し、
顧客満足度と提案効率の向上に寄与





CGによる提案イメージ



VR（スマートフォンで内観を体験）

３Dプリンター住宅の背景

住宅業界は50年以上、構造もデザインもほとんど変わっていない

変わり続ける自動車、変わらない住宅

自動車業界

1970s → ハイブリッド・EV・自動運転 → 2020s

エンジンからEV・自動運転へ、技術革新が連続

住宅業界

1970s → 高気密・高断熱・ZEH・HEMS → 2020s

断熱・設備・認証制度の変化が中心で、基本構造は50年前と変わらず

世界が直面する住宅課題

世界規模での住宅不足

10億人を超える人々が適切な住環境を確保できず、今後も増加するとされる



熟練労働者の不足

日本をはじめ熟練労働人口が激減し、労働力に依存した建築手法からの脱却が急務

持続可能な社会の実現

循環型・脱炭素な建築が重要に。３Dプリンティング建設は世界共通の課題解決となり得る

３Dプリンター住宅は、住宅不足・技術者不足・環境負荷という課題の解決に貢献し得る技術

当社３Dプリンター住宅「Lib Earth House」の特徴

素材・オンサイト施工・木造融合・日本の風土への調和という４つの特徴



1 素材

地球上に豊富に存在し再生可能な資源である“土”を主要な材料として使用



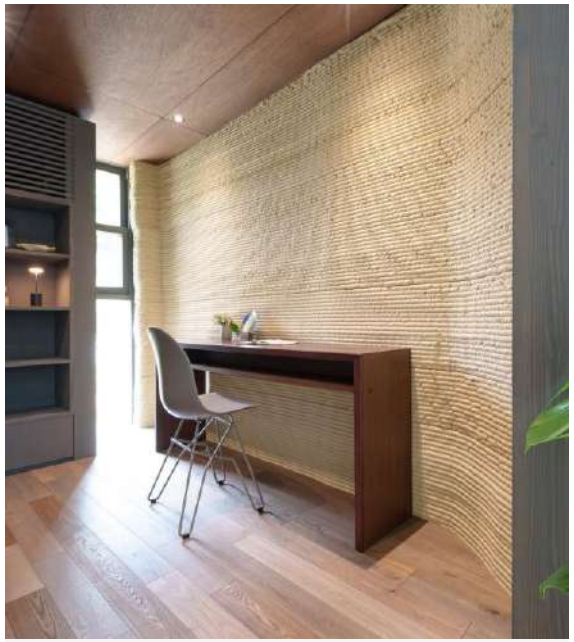
2 オンサイト施工

土のプリントが可能な３Dプリンターを現地に運んでプリントするオンサイト形式を採用



3 木造との融合

主構造を木造とし、プリント壁を外装材とすることで建築基準法に準拠した建築物を実現



4 日本の風土への調和

古来より壁材として使われ、調湿性・断熱性に優れた日本の気候風土に最適な素材

プラットフォーム事業

自社で培ったノウハウと課題解決策をサービス化し、全国の住宅会社・工務店にサブスクリプションで提供

住宅会社・工務店の課題	当社のソリューション	
人手不足や 残業増加	AIを活用した プラン提案システム	My Home Robo
集客減少・自社で 獲得する顧客層の限界	人気ブランドでの 強い集客装置	niko and ... EDIT HOUSE



高粗利のサブスクリプション（ストック収益）：加盟店の拡大に伴い、高粗利のストック収益を積み上げる

プラットフォーム事業：My Home Robo

間取り診断から、AIがプラン・CG・VR提案、生成AIによる提案文章作成までを**5分**で完結

My Home Robo

1　間取り診断



お客様は簡単なアンケートに回答するだけ

2　わずか5分でAIがプランを自動提案



プラン



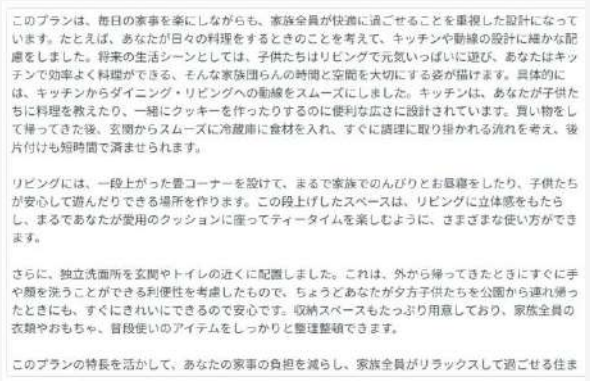
外観CG



VR

- 簡単なアンケートへの回答から、わずか**5分**でAIがプランを自動提案
- 初期提案の段階で、プランだけでなくCG＋VRまで提案できることが大きな強み
- 来場前にお客様の希望をヒアリングでき、「ゼロ次接客」が可能に

3　提案文章を自動生成



このプランは、毎日の家事を楽にしながらも、家族全員が快適に過ごせることを重視した設計になっています。たとえば、あなたが日々の料理をするときのことを考えて、キッチンや動線の設計に細かな配慮をしました。将来の生活シーンとしては、子供たちはリビングで元気いっぱいに遊び、あなたはキッチンで効率よく料理ができる、そんな家族団らんの時間と空間を大切にする姿が描けます。具体的には、キッチンからダイニング・リビングへの動線をスムーズにしました。キッチンは、あなたが子供たちに料理を教えたり、一緒にクッキーを作ったりするのに便利な広さに設計されています。買い物をして帰ってきた後、玄関からスムーズに冷蔵庫に食材を入れ、すぐに調理に取り掛かれる流れを考え、後片付けも短時間で済ませられます。

リビングには、一段上がった畳コーナーを設けて、まるで家族でのんびりとお昼寝をしたり、子供たちが安心して遊んだりできる場所を作ります。この段上げしたスペースは、リビングに立体感をもたらし、まるであなたが愛用のクッションに座ってティータイムを楽しむように、さまざまな使い方ができます。

さらに、独立洗面所を玄関やトイレの近くに配置しました。これは、外から帰ってきたときにすぐに手や顔を洗うことができる利便性を考慮したもので、ちょうどあなたがタ方子供たちを公園から連れ帰ったときにも、すぐにきれいにできるので安心です。収納スペースもたっぷり用意しており、家族全員の衣類やおもちゃ、冒段使いのアイテムをしっかりと整理整頓できます。

このプランの特長を活かして、あなたの家事の負担を減らし、家族全員がリラックスして過ごせる住ま

生成AIに対応し、提案文章も自動生成

VR事例は
こちらから

スピードの時代＝速さは感動をもたらす

プラットフォーム事業：IPライセンス

20～40代に絶大な人気を誇る「niko and ...」と共同開発した、業界初の「IPライセンス」

共同商品開発・販売提携

ADASTRIA Play fashion!

×

LibService 株式会社リブサービス

Lib Work 100%出資の子会社

niko and ... EDIT HOUSE





Instagram時代に大きくマッチした集客装置

初年度 新規数（当社実績比）

4倍

初年度 受注

45棟

バーチャルモデルハウス

FCと違い経営自由度が高い

指定構造材の購入や、1棟販売毎のロイヤリティ支払いも無く、「固定費」であるのが特徴

プラットフォーム事業：IPライセンス

一般的なFCとは異なるサービス内容で、加盟店に４つのメリットを提供

1 明解な差別化

他社が真似できないブランド訴求により、獲得単価が減少

The House Edited by
niko and ...

- ニコアンドの圧倒的な認知度（社会的な信用力UPに）
- 強い集客力で獲得単価を低減

2 顧客層の拡大

まだ住宅購入を考えたことのない層へのリーチや、セカンドブランドとしての拡大が可能に



- 自社の顧客に新しい客層を上乗せ
- 新しいエリア進出やマルチブランド戦略に相性が良い

3 販促費用の削減

ノベルティ等での集客・クロージングキャンペーンが高い効果



- ブランドのマグカップや雑貨で集客（他社では３万円分の金券）
- ブランドの家具・雑貨を進呈するクロージングキャンペーンは受注にも高い効果

4 採用の強化

Instagram世代への訴求力向上、社員の若返り・モチベーション向上



- ニコアンドとの提携を契機に、合同説明会での集客も多数
- 採用強化のほか、社内のモチベーションアップにも寄与

人的資本・高い採用力

独自性の高い事業と挑戦の機会を採用競争力に変え、成長を支える人材を確保

2028年卒エントリー数	採用予定数
3,707名	40名

採用予定数に対し 約92倍の応募母集団

1. **異業種との共創が生む、独自の事業**
   有力ブランドとのコラボレーションで、住宅会社の枠を超えた商品・サービスを創出
2. **３Dプリンター住宅で「未来の住まい」をつくる仕事**
   社会課題の解決と新市場の創出に携われることが、未来志向の人材から高い関心を集める
3. **若手が挑戦し、成長を実感できる企業文化**
   年齢や社歴にかかわらず、新規事業や重要プロジェクトに参画できる環境を整備







会社説明会の様子

人的資本経営

ユニット経営・ナレッジシェア・オーナーシップ・ダイバーシティを軸に人的資本を強化

1 リブ式ユニット経営

最大４名で１ユニットを構成し、目標の明確化と成果の見える化を実現

2 ナレッジシェア経営

マニュアル作成ツールで知識を一元管理し、属人化を防いで業務を効率化

3 オーナーシップ経営

従業員・取引先持株会に加え、ESOP制度を導入し「全員経営」を推進

4 ダイバーシティ経営

2014年に、経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞

※ESOP（Employee Stock Ownership Plan）制度：会社が株式を活用して従業員に中長期的なインセンティブを付与し、企業価値向上への意識を高める制度

将来見通しに関する留意事項

本資料についてのご注意

本資料に記載された業績予想、事業計画その他の将来の見通しは、本資料の公表日現在において当社が入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づくものです。実際の業績等は、住宅需要、金利、建築費、災害、技術開発・認証の進捗、提携の進捗、暗号資産価格の変動その他のさまざまな要因により、大きく異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身の判断において行われますようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社Lib Work　管理部　　TEL：0968-44-3227　　https://www.libwork.co.jp/